

寫真週報

編輯局報情
第七十號冊百二第·日二廿月七

大東亞
建設特輯



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 12

てしら散に沫飛を敵殘

島南海



撮影 鈴木海軍報道班員

逃げる敵残兵を馬で追ふ勇
 海軍は南海島に掃蕩の作戦
 を練る

海南島は礦物資源の寶
 庫であるとともに、南
 方における重要な軍事基
 地の一つである

占領以來島内の治安は
 都合地においては全く確
 立され、住民はわが方に
 大いに協力してゐるが、
 南方の山中や邊鄙な地
 には未だ暴息に浴しえない
 不逞分子がゐり、島内の
 治安を亂してゐる

わが海軍陸戦隊は、大
 東亞戰爭勃發以來海に陸
 に果る奮々たる戦果と並
 行して、平和な島、海南
 島めざしてこれら不逞分
 子の掃蕩を續けてゐる

沫をばね上げて馬上の陸戦
 隊員は不逞分子の屯する叢
 林を急襲する

必中の砲口は火をばく
 椰子林の二隅に敵を追ひつ
 め、白兵戦に移る

現代の戦車

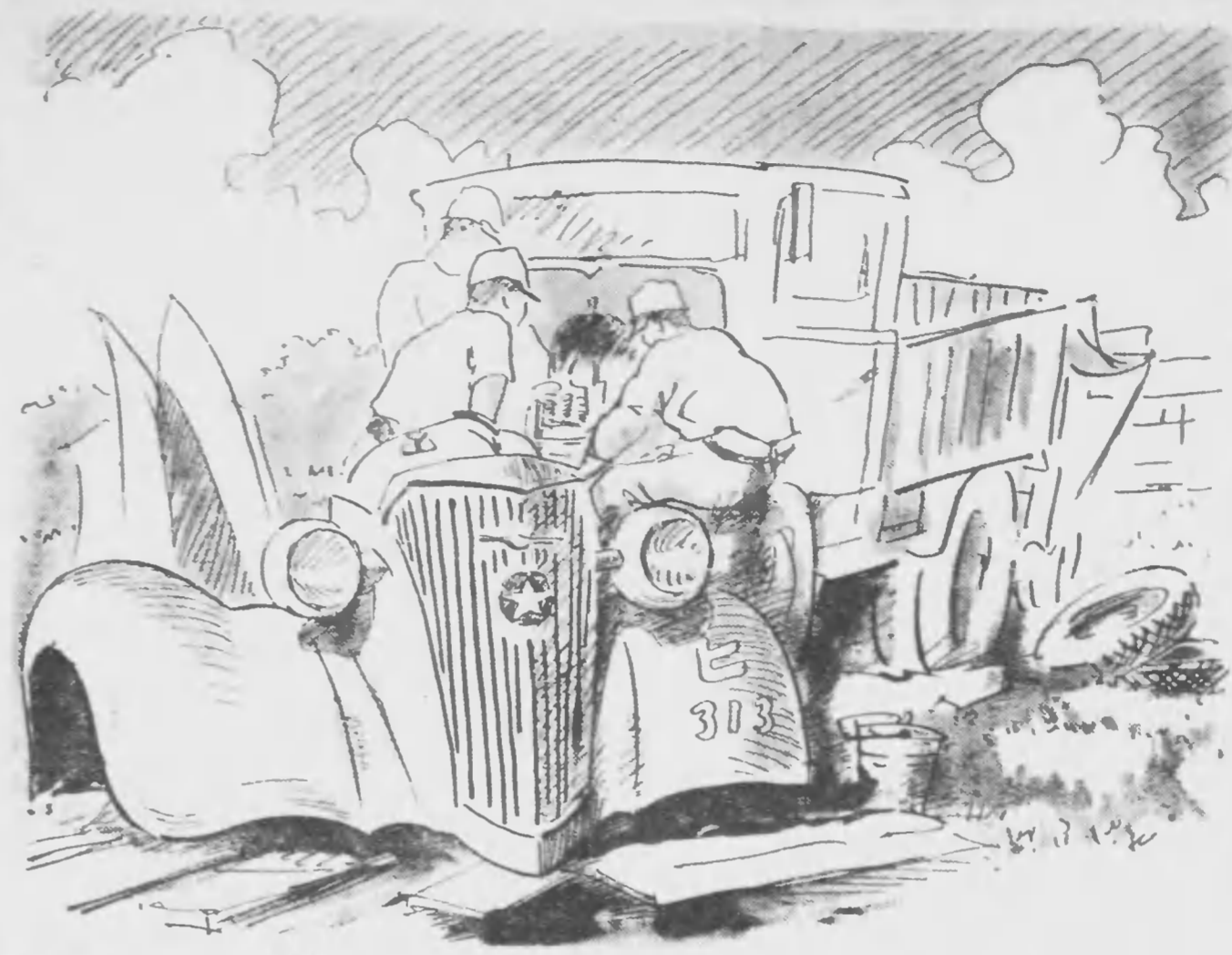
いとしへのつはものどもは馬を愛したが、現代の戦車を愛する事いしへに劣らない

「作」が終り、また次の作戦のために、兵隊は黙々と戦車の整備を怠らない

「ホウ、このシリンドラーの油を注ぎなさい」

「はい、注がったらうなあ」

「思はず、車に物を言ふ。物言はぬ自動貨車もうれ



「なん、エンジンホール」

隊長が、ちと休めとすゝめるが、なんのその、太陽の下、油にまみれて一心不乱である

ヤバラス 描素

忙中小閑 入城後とて兵隊は忙しい。いつでも「おろ」と答へて立ち上る準備をささぐ怠りない

やつとの外山、スラバヤ市内で唯一の遊ば場所である動物園へ出かけてゆくと、どの兵隊も子供のやうに楽しんでゐる。中でも人氣者のオランウータンは、籠を上手にのむので大盛。一人の兵隊がよほど親密を感じ



たものか

「おいトアン、サヤと握手しよう」

と腕を伸ばした

握手はしたが、オランウータンの腕力は



いので、しまひにはお互に力だめしの引張り合ひ。そのときの奴さんの表情、如件。さて勝負が済むと、兵隊はいと流暢に申しました

「トレマカシイヤ」

交換一言 敵が使つてゐた地下室の交換を、そつくりそのまゝ

入城當日から使つてゐるのだが、百に餘る加入番號を一人で交換してゐるから、眼にしみる汗を拭く暇もない忙しさ。午前九時から十一時までの二時間の通話、なんと七百五十話。ちよつとマゴつてゐると表示器が

進南半線

東部ジャヴァ作戦中、歩兵と協力していつも車の先頭を進み、橋梁を確保し、トーチカを撃破した戦士たちは、多数の彈痕を肌に残んで、なほも前進せざるは、やまずの意氣込みである

隊長の岩田中尉は、北半線で散つた光輝の弾物甲の兄を偲びながら、南半線の地平線をちつと睨んでゐる。とかう書けば先武者のやうだが、實際はいつも微笑を浮かべた謙虚な人柄だ。猛演習が終り、汗まつしよりで部下の兵隊が降りてくると、自分の汗も拭きあへず、やさしく幼つてやつてゐる。一小隊の戦車でスラバヤ攻略を早めたほどのつはものどもは思はれない優しさ。だから日本は強いのだ

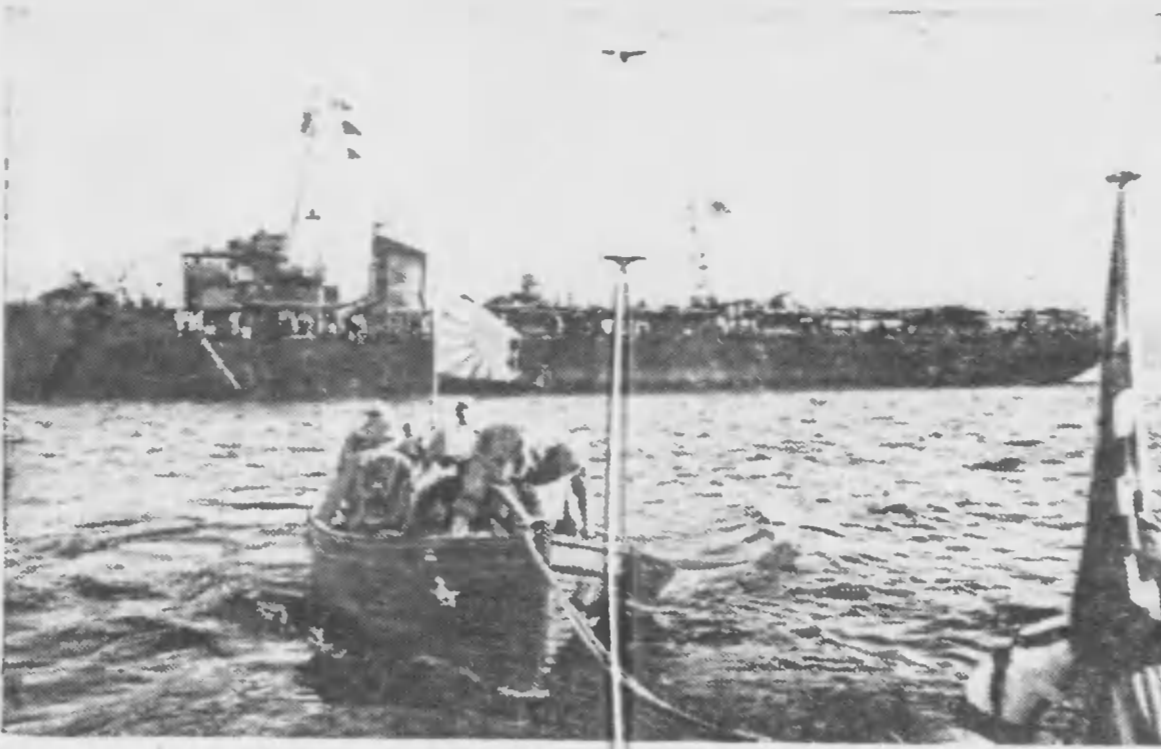


文大江賢次
書大山英夫

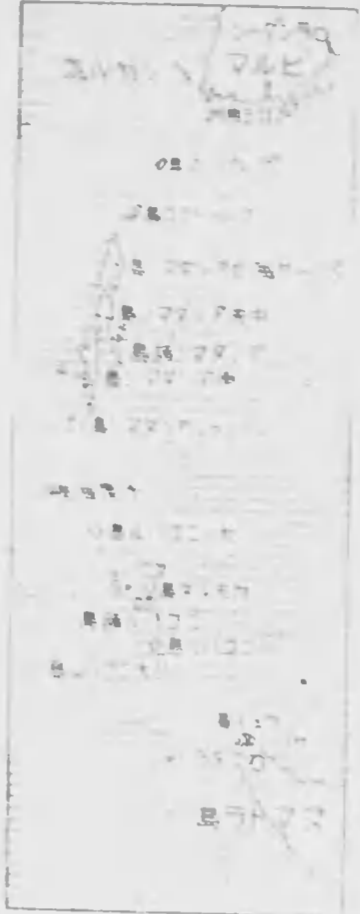
英文 Gama



兵の持った椰子の賣のうまい汁をすって湯を
いやし、ふと勇士は内地の清水のうまさと思ふ



母艦を後に勇進小ニコバル島に陸戦隊は向ふ



領占血無ルバコニ



撮影 山崎海軍報道員

影は潮に落ちよとして空砲兵の
影射かに浮くニコバルの夕ぐれ
去るに、インド洋中アンダーマン群島に初
軍艦旗を掲し、海軍部隊は、ここにインド
洋の波瀾を蹴つて突如六月十三日の朝日、ニコ
バル群島中の要衝小ニコバル、ナンコウワ、カ
ニコバル島等に陸戦隊を降し、これを無抵抗
領、大日本帝國海軍占領の標柱を感涙と共に打
ち建てた。



ニコバル群島は十度海峡を境としてアンダーマン
諸島と連なつてをり、イギリスは一八六九年アン
マック人から領有した島によつてこの島を強
アンダーマン攻勢の支配下に置いて治めた。こ
の諸島は大小二島の島々から成り、中でも群
島人口の三分の二、一万人の人口を有し、政略支
の要衝にあり、ニコバル島は此島の中心地とな
り、地味は、依りて、島民の生活を養つてゐる。島民
は、植林業、農業、漁業に従事し、椰子を賣つてゐる。

住民たちから情報を聞く陸戦隊員



子とマレ

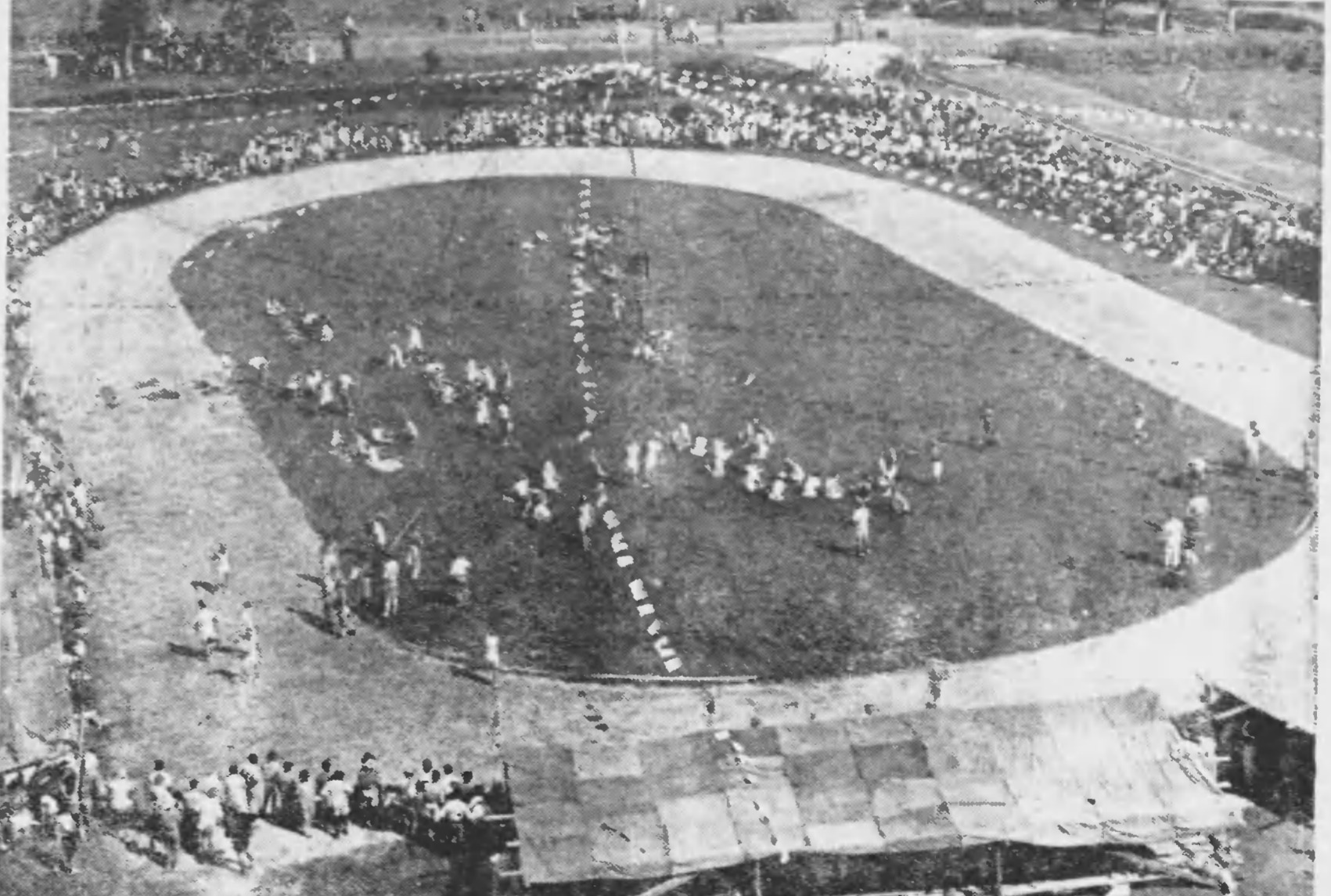
ジョーホー・ルバ陸軍病院慰問運動會



現はれいでたり丹下左膳、陽光にその白衣がまぶしい。マレ半島の南端、ジョーホー・ルバの兵站病院から今日、珍しく和やかな楽しい兵隊さんの姿をお目にかかせました。数ヶ月前のあの激しいかつ、大騒動も今は夢のやうに遠く去り、原住民連の協力のもとに建設も治安も着々とすゝめられていますが、これは不幸病を得た身を、病院に養ふ勇士達の無聊を慰め、或はすでに快癒も近く、溢れる闘志を白衣についで、汗肉の敷をかこつ勇士達のために催された運動會の様です。ごらん下さい、何か胸躍らした少年時代の運動會の思ひ出に輝々として、賑れる純真な勇士の表情を、これではマラリアもデング熱もともて寄りつけさうありませんね。

花環に飾られた英霊に原住民も敬意の頭をさげる。花環に飾られた英霊に原住民も敬意の頭をさげる。

蜘蛛手にはつた日章旗のほためき、何となくいざわがこぼきたつて白衣選手の。蜘蛛手にはつた日章旗のほためき、何となくいざわがこぼきたつて白衣選手の。



胡瓜
昭南の生の胡瓜をかじつたら、涙が出て止まらなかつた。ふるさとの味が長にならうとは、肉桂性な胡瓜の味。胡瓜をきき、母の姿が浮いてきた。

上陸の印象
ジャコブも切れよと浪の荒れ狂い、激浪に噴きまわされ断られたり、襲へ来る浪より投げつけられ、黒く眠る敵地、前には迫り来る、激浪を膝にこらへて銃を撃つし、ぶきあげて飛出す兵隊、砂に伏せ敵を探りて眼を、砂に伏せ見上ぐる椰子の葉、敵の地を足下に踏みて言ひなし。

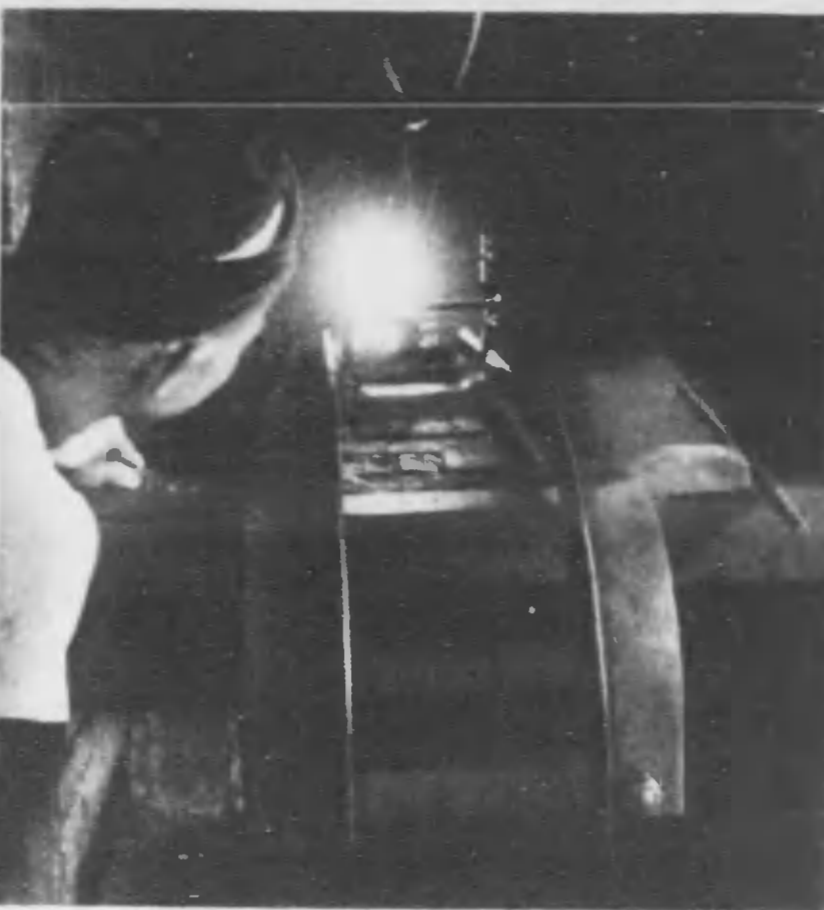
雨の歩哨線
何處で吹くのか笛の音が、椰子の葉風と共に鳴る。遠い故郷が憶にれて、遠くとも、遠くとも、想出が、響る歩哨の胸をつく。空を仰げば雲もなく、元氣を征げよと囁きされ、故郷を發つ日あの時の、懐かし母の面影が、響る歩哨の胸をつく。波の彼方に、霞を、霞の光中、遠い故郷の夏の夜が、しみみ、身にしみ南方を、響る歩哨の胸をつく。南十字の星の下、祖國の使節、先きに、きらめく星と、共に、敵空に、み立つ歩哨、任務は大きく、重し。

大東亞戦争日誌
六日 ●支那方面陸軍の支那軍動員以降五箇年(六月中旬まで)における総合戦果ならびに我が方の損害、左の如く發表せらる。
総合戦果 (一)敵の遺棄死傷約二百三十三万八千 (二)撃沈敵艦船、巡洋艦七隻、驅逐艦一隻、砲艦十一隻、その他約百三十隻 (三)撃破敵飛行機約二千八百機 (四)主要なる戦糧品、各種火砲五千門、重砲、野砲、各種火砲五千門、小銃、大銃、四百四十挺、自動車(戦車、装甲車を含む)三千輛、補給船約千七百六十艘 (五)奪取敵分隊約千七百五十隊 (六)我が方の損害 (一)戦死十一万一千百一十一名(本年五月以降の戦死者を含む) (二)喪失飛行機二百四十機

七日 ●ルマ方面陸軍の五月末日までに収めたる総合戦果 (一)遺棄死傷二万四千六百九十一名(五期一、二期一、九千九百) (二)俘虜四千二百八十八名(第一期九百八十六名、第二期三百三十二名) (三)擄獲品、火砲四百二十門(第一期三百三十九、第二期二百八十八、第三期四百四十八、第四期四百八十六、第五期四百八十八、第六期四百八十八、第七期四百八十八、第八期四百八十八、第九期四百八十八、第十期四百八十八) (四)車輜八千二百五十四輛(第一期一千三百二十六、第二期一千三百二十六、第三期一千三百二十六、第四期一千三百二十六、第五期一千三百二十六、第六期一千三百二十六、第七期一千三百二十六、第八期一千三百二十六、第九期一千三百二十六、第十期一千三百二十六) (五)わが方の損害、戦死二千二百八十九名(第一期四百三十八、第二期八百五十一、戦後三千五百五十六名、第一期八百二十六、第二期二千二百三十一) (註)第一期は十二月八日より三月十日まで、第二期は三月十一日より五月三十一日まで。



不純物を除き去った錫石は、錫石大反母道に入れられて重油で加熱される



不純物を除き去った錫石は、錫石大反母道に入れられて重油で加熱される



改裝されて錫石を運搬するかつての運搬用ケーブルカー



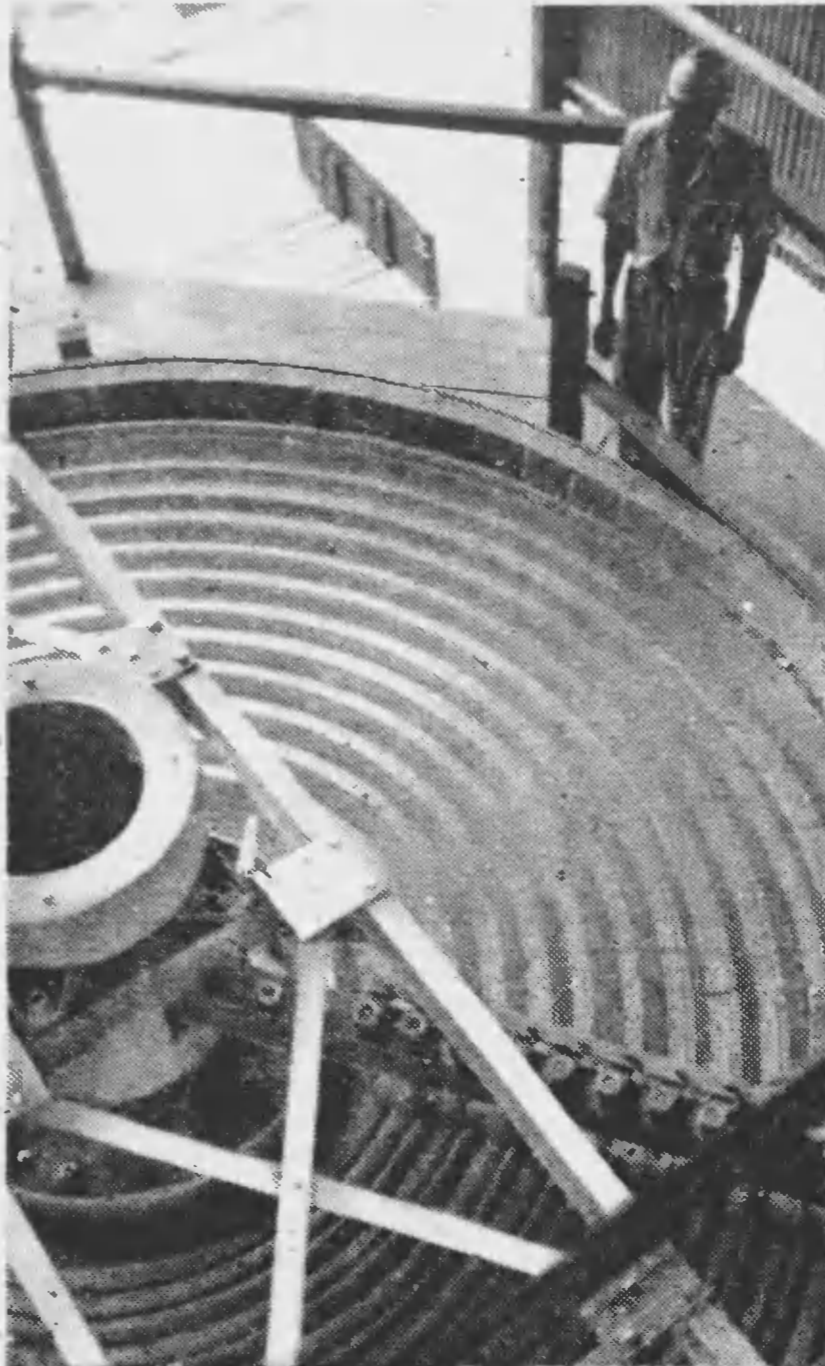
釜に重油を吹込んで精製錫ができる。これを型に絞めて凍結させる



不純物を除き去った錫石は、錫石大反母道に入れられて重油で加熱される



大日本成南錫製煉所



釜に重油を吹込んで精製錫ができる。これを型に絞めて凍結させる



採掘した錫石を分析して品位の含有量を決定する製煉所の分析室

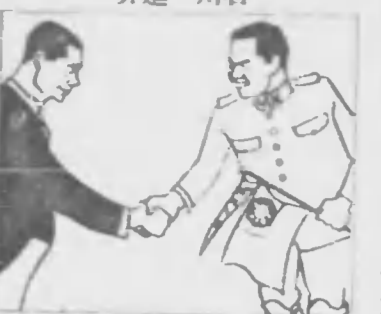
る誇に界世
のンナペ
所煉製錫

マレー半島の河口、マラッカ海峡に
臨んだペナンは面積わずか二百七十八
平方キロ(約淡路島の半分)の小さい島
だが、錫の産額では世界的に秀で、

り、正にペナンは錫の島だともいへ
る。実際、大東亞戦争勃発直前までペ
ナンの錫工場は米英兩國の最も大きな
錫の供給地として世界所産の約四割
を生産してゐたのである。
いま、敵の手からわが方に接収され
たこの錫工場は大東亞建設の重要な一
翼を担つて腹一杯につめ込んだ錫錫石
の製煉に徹夜の作業を續けてゐる。こ
とにこの建設職線に美しい花を咲かせ
てゐるのはわが派遣技術の優れた技術
にマレー人が心から敬意を示してゐるこ
とであつて、製煉工場の轟音の中に、
錫の延板の山を搬送する登陸トンカ
ン(我輩)の中にわが派遣員と原住民と
のほろあまじい協力風景をみることは、
建設職の將來を暗示するものとして
誠にたのしいものがある。

撮影 山陽海軍報道班員

大東亞戰爭漫日誌
石川 進



イタリヤ國民政府を承認す



チャーチルや四八萬八



米國は下級中絶のたて



任支米空襲の動向



整頓の方海口の市を遷



の國境畫定完成



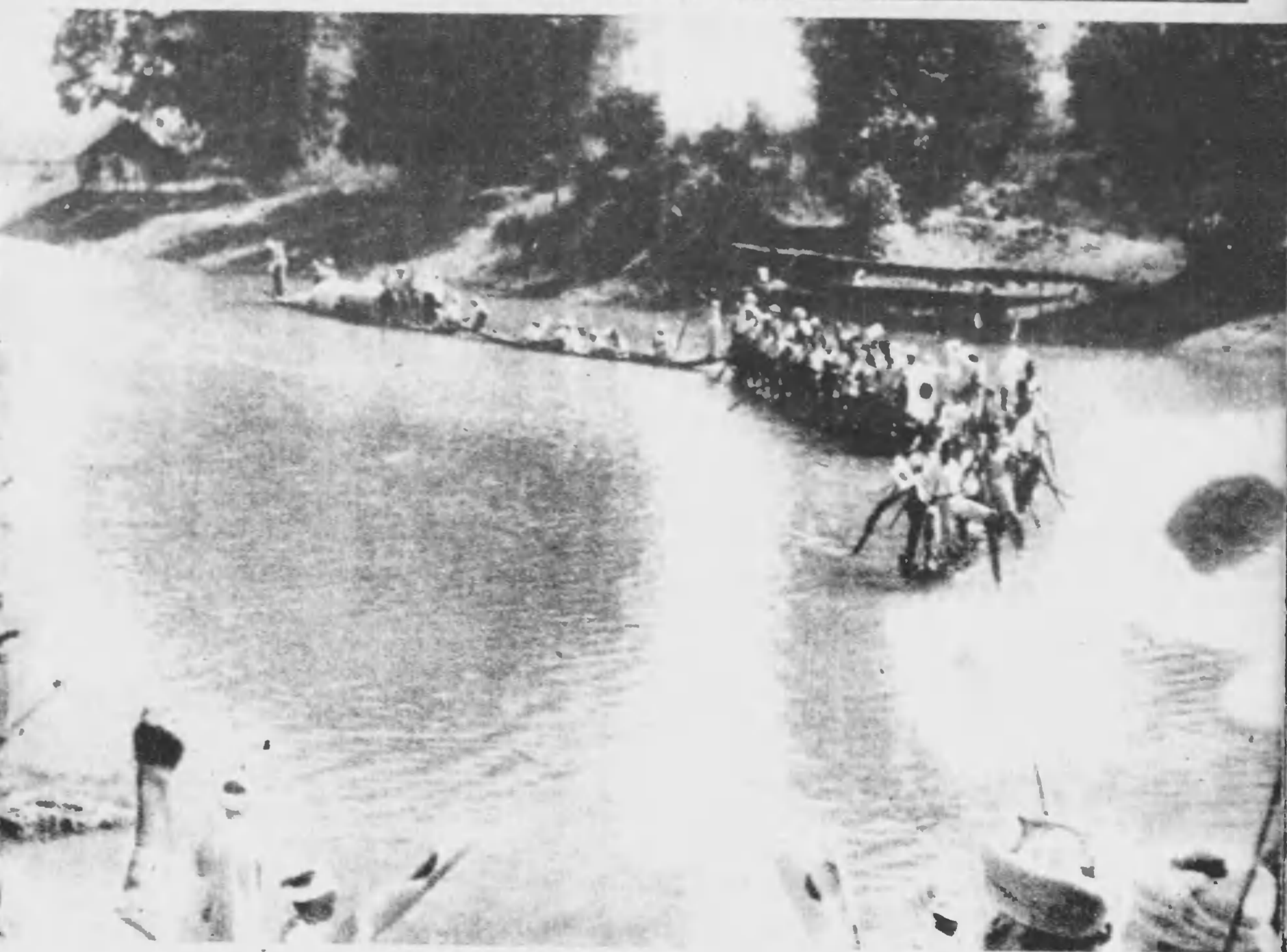
ビルマ作戦は緬甸地帯の作戦であり、長距離作戦の一つの特徴であった。わが勇士たちは敵の
 る所どこにでも、敵の河を渡り、酷暑、悪疫をもとせず進軍した。しかも、このビルマ作戦
 でビルマ住民が軍に与った涙ぐましい協力ぶりには感謝の他はない。
 例へば、彼等は英軍、英軍の情報を逐一わが軍に提供したり、或ひはわが兵隊のために食糧を調達
 したり、舟を提供したり、はては茶や果物を出して將兵を労ひ、深夜十里の道を遠しとしないで道案
 内をするなど、彼等の親日ぶりはなれり盡せりであつた
 わが兵隊がマンダレーから東南方四百キロにある邊鄙なシャン地方に進軍した時にも、住民たちは
 日本軍が来るといふので、手に／＼日の丸を持って迎へた。そして歓迎の心づくしに珍しい風習を見
 せてわが進軍の將兵を労ひ、王様が先
 頭に立つて心から歓迎したのであつた
 シャン地方は、タイ、佛印、支那に
 境を接する海拔四千尺の高原地で、氣
 候もちやうとわが國に同じで、住民の
 顔も日本人によく似てゐる。それに豊
 かな資源と珍らしい風俗を以て世界の
 神祕境として有名なところである
 このやうに、殆んど他國人の入らな
 いやうな邊境でも、ビルマ住民は日本
 人と知れば自然と親しみの情で接して
 くる。同じ佛教國民として、交際がな
 く、話を通じなくとも、互に心觸れ合
 ふものがあるのだらう
 今、首都ラングーンではわが軍政下
 に、反英獨立の將領バ・モ博士を中心
 とするビルマ中央行政機關設立準備委
 員會が結成されて、着々活潑な行動が
 展開されつつある。待ちに待つた英國
 より解放の日が来たのである。恐らく
 全ビルマ住民の胸中は喜びに高鳴つて
 ゐることだらう

ビルマ作戦は緬甸地帯の作戦であり、長距離作戦の一つの特徴であった。わが勇士たちは敵の
 る所どこにでも、敵の河を渡り、酷暑、悪疫をもとせず進軍した。しかも、このビルマ作戦
 でビルマ住民が軍に与った涙ぐましい協力ぶりには感謝の他はない。
 例へば、彼等は英軍、英軍の情報を逐一わが軍に提供したり、或ひはわが兵隊のために食糧を調達
 したり、舟を提供したり、はては茶や果物を出して將兵を労ひ、深夜十里の道を遠しとしないで道案
 内をするなど、彼等の親日ぶりはなれり盡せりであつた
 わが兵隊がマンダレーから東南方四百キロにある邊鄙なシャン地方に進軍した時にも、住民たちは
 日本軍が来るといふので、手に／＼日の丸を持って迎へた。そして歓迎の心づくしに珍しい風習を見
 せてわが進軍の將兵を労ひ、王様が先
 頭に立つて心から歓迎したのであつた
 シャン地方は、タイ、佛印、支那に
 境を接する海拔四千尺の高原地で、氣
 候もちやうとわが國に同じで、住民の
 顔も日本人によく似てゐる。それに豊
 かな資源と珍らしい風俗を以て世界の
 神祕境として有名なところである
 このやうに、殆んど他國人の入らな
 いやうな邊境でも、ビルマ住民は日本
 人と知れば自然と親しみの情で接して
 くる。同じ佛教國民として、交際がな
 く、話を通じなくとも、互に心觸れ合
 ふものがあるのだらう
 今、首都ラングーンではわが軍政下
 に、反英獨立の將領バ・モ博士を中心
 とするビルマ中央行政機關設立準備委
 員會が結成されて、着々活潑な行動が
 展開されつつある。待ちに待つた英國
 より解放の日が来たのである。恐らく
 全ビルマ住民の胸中は喜びに高鳴つて
 ゐることだらう



ビルマ作戦は緬甸地帯の作戦であり、長距離作戦の一つの特徴であった。わが勇士たちは敵の
 る所どこにでも、敵の河を渡り、酷暑、悪疫をもとせず進軍した。しかも、このビルマ作戦
 でビルマ住民が軍に与った涙ぐましい協力ぶりには感謝の他はない。
 例へば、彼等は英軍、英軍の情報を逐一わが軍に提供したり、或ひはわが兵隊のために食糧を調達
 したり、舟を提供したり、はては茶や果物を出して將兵を労ひ、深夜十里の道を遠しとしないで道案
 内をするなど、彼等の親日ぶりはなれり盡せりであつた
 わが兵隊がマンダレーから東南方四百キロにある邊鄙なシャン地方に進軍した時にも、住民たちは
 日本軍が来るといふので、手に／＼日の丸を持って迎へた。そして歓迎の心づくしに珍しい風習を見
 せてわが進軍の將兵を労ひ、王様が先
 頭に立つて心から歓迎したのであつた
 シャン地方は、タイ、佛印、支那に
 境を接する海拔四千尺の高原地で、氣
 候もちやうとわが國に同じで、住民の
 顔も日本人によく似てゐる。それに豊
 かな資源と珍らしい風俗を以て世界の
 神祕境として有名なところである
 このやうに、殆んど他國人の入らな
 いやうな邊境でも、ビルマ住民は日本
 人と知れば自然と親しみの情で接して
 くる。同じ佛教國民として、交際がな
 く、話を通じなくとも、互に心觸れ合
 ふものがあるのだらう
 今、首都ラングーンではわが軍政下
 に、反英獨立の將領バ・モ博士を中心
 とするビルマ中央行政機關設立準備委
 員會が結成されて、着々活潑な行動が
 展開されつつある。待ちに待つた英國
 より解放の日が来たのである。恐らく
 全ビルマ住民の胸中は喜びに高鳴つて
 ゐることだらう

湖をゆく丸の舟



ビルマ作戦は緬甸地帯の作戦であり、長距離作戦の一つの特徴であった。わが勇士たちは敵の
 る所どこにでも、敵の河を渡り、酷暑、悪疫をもとせず進軍した。しかも、このビルマ作戦
 でビルマ住民が軍に与った涙ぐましい協力ぶりには感謝の他はない。
 例へば、彼等は英軍、英軍の情報を逐一わが軍に提供したり、或ひはわが兵隊のために食糧を調達
 したり、舟を提供したり、はては茶や果物を出して將兵を労ひ、深夜十里の道を遠しとしないで道案
 内をするなど、彼等の親日ぶりはなれり盡せりであつた
 わが兵隊がマンダレーから東南方四百キロにある邊鄙なシャン地方に進軍した時にも、住民たちは
 日本軍が来るといふので、手に／＼日の丸を持って迎へた。そして歓迎の心づくしに珍しい風習を見
 せてわが進軍の將兵を労ひ、王様が先
 頭に立つて心から歓迎したのであつた
 シャン地方は、タイ、佛印、支那に
 境を接する海拔四千尺の高原地で、氣
 候もちやうとわが國に同じで、住民の
 顔も日本人によく似てゐる。それに豊
 かな資源と珍らしい風俗を以て世界の
 神祕境として有名なところである
 このやうに、殆んど他國人の入らな
 いやうな邊境でも、ビルマ住民は日本
 人と知れば自然と親しみの情で接して
 くる。同じ佛教國民として、交際がな
 く、話を通じなくとも、互に心觸れ合
 ふものがあるのだらう
 今、首都ラングーンではわが軍政下
 に、反英獨立の將領バ・モ博士を中心
 とするビルマ中央行政機關設立準備委
 員會が結成されて、着々活潑な行動が
 展開されつつある。待ちに待つた英國
 より解放の日が来たのである。恐らく
 全ビルマ住民の胸中は喜びに高鳴つて
 ゐることだらう



ビルマ作戦は緬甸地帯の作戦であり、長距離作戦の一つの特徴であった。わが勇士たちは敵の
 る所どこにでも、敵の河を渡り、酷暑、悪疫をもとせず進軍した。しかも、このビルマ作戦
 でビルマ住民が軍に与った涙ぐましい協力ぶりには感謝の他はない。
 例へば、彼等は英軍、英軍の情報を逐一わが軍に提供したり、或ひはわが兵隊のために食糧を調達
 したり、舟を提供したり、はては茶や果物を出して將兵を労ひ、深夜十里の道を遠しとしないで道案
 内をするなど、彼等の親日ぶりはなれり盡せりであつた
 わが兵隊がマンダレーから東南方四百キロにある邊鄙なシャン地方に進軍した時にも、住民たちは
 日本軍が来るといふので、手に／＼日の丸を持って迎へた。そして歓迎の心づくしに珍しい風習を見
 せてわが進軍の將兵を労ひ、王様が先
 頭に立つて心から歓迎したのであつた
 シャン地方は、タイ、佛印、支那に
 境を接する海拔四千尺の高原地で、氣
 候もちやうとわが國に同じで、住民の
 顔も日本人によく似てゐる。それに豊
 かな資源と珍らしい風俗を以て世界の
 神祕境として有名なところである
 このやうに、殆んど他國人の入らな
 いやうな邊境でも、ビルマ住民は日本
 人と知れば自然と親しみの情で接して
 くる。同じ佛教國民として、交際がな
 く、話を通じなくとも、互に心觸れ合
 ふものがあるのだらう
 今、首都ラングーンではわが軍政下
 に、反英獨立の將領バ・モ博士を中心
 とするビルマ中央行政機關設立準備委
 員會が結成されて、着々活潑な行動が
 展開されつつある。待ちに待つた英國
 より解放の日が来たのである。恐らく
 全ビルマ住民の胸中は喜びに高鳴つて
 ゐることだらう

本誌からあなたは何を學んだ
 てせうか
 7月1日作戦地域の最北端と最西
 端は、このやうな、(一)自
 治地域の極端な、(二)自
 治地域の極端な、(三)自
 治地域の極端な、(四)自
 治地域の極端な、(五)自
 治地域の極端な、(六)自
 治地域の極端な、(七)自
 治地域の極端な、(八)自
 治地域の極端な、(九)自
 治地域の極端な、(十)自
 治地域の極端な、(十一)自
 治地域の極端な、(十二)自
 治地域の極端な、(十三)自
 治地域の極端な、(十四)自
 治地域の極端な、(十五)自
 治地域の極端な、(十六)自
 治地域の極端な、(十七)自
 治地域の極端な、(十八)自
 治地域の極端な、(十九)自
 治地域の極端な、(二十)自
 治地域の極端な、(二十一)自
 治地域の極端な、(二十二)自
 治地域の極端な、(二十三)自
 治地域の極端な、(二十四)自
 治地域の極端な、(二十五)自
 治地域の極端な、(二十六)自
 治地域の極端な、(二十七)自
 治地域の極端な、(二十八)自
 治地域の極端な、(二十九)自
 治地域の極端な、(三十)自
 治地域の極端な、(三十一)自
 治地域の極端な、(三十二)自
 治地域の極端な、(三十三)自
 治地域の極端な、(三十四)自
 治地域の極端な、(三十五)自
 治地域の極端な、(三十六)自
 治地域の極端な、(三十七)自
 治地域の極端な、(三十八)自
 治地域の極端な、(三十九)自
 治地域の極端な、(四十)自
 治地域の極端な、(四十一)自
 治地域の極端な、(四十二)自
 治地域の極端な、(四十三)自
 治地域の極端な、(四十四)自
 治地域の極端な、(四十五)自
 治地域の極端な、(四十六)自
 治地域の極端な、(四十七)自
 治地域の極端な、(四十八)自
 治地域の極端な、(四十九)自
 治地域の極端な、(五十)自
 治地域の極端な、(五十一)自
 治地域の極端な、(五十二)自
 治地域の極端な、(五十三)自
 治地域の極端な、(五十四)自
 治地域の極端な、(五十五)自
 治地域の極端な、(五十六)自
 治地域の極端な、(五十七)自
 治地域の極端な、(五十八)自
 治地域の極端な、(五十九)自
 治地域の極端な、(六十)自
 治地域の極端な、(六十一)自
 治地域の極端な、(六十二)自
 治地域の極端な、(六十三)自
 治地域の極端な、(六十四)自
 治地域の極端な、(六十五)自
 治地域の極端な、(六十六)自
 治地域の極端な、(六十七)自
 治地域の極端な、(六十八)自
 治地域の極端な、(六十九)自
 治地域の極端な、(七十)自
 治地域の極端な、(七十一)自
 治地域の極端な、(七十二)自
 治地域の極端な、(七十三)自
 治地域の極端な、(七十四)自
 治地域の極端な、(七十五)自
 治地域の極端な、(七十六)自
 治地域の極端な、(七十七)自
 治地域の極端な、(七十八)自
 治地域の極端な、(七十九)自
 治地域の極端な、(八十)自
 治地域の極端な、(八十一)自
 治地域の極端な、(八十二)自
 治地域の極端な、(八十三)自
 治地域の極端な、(八十四)自
 治地域の極端な、(八十五)自
 治地域の極端な、(八十六)自
 治地域の極端な、(八十七)自
 治地域の極端な、(八十八)自
 治地域の極端な、(八十九)自
 治地域の極端な、(九十)自
 治地域の極端な、(九十一)自
 治地域の極端な、(九十二)自
 治地域の極端な、(九十三)自
 治地域の極端な、(九十四)自
 治地域の極端な、(九十五)自
 治地域の極端な、(九十六)自
 治地域の極端な、(九十七)自
 治地域の極端な、(九十八)自
 治地域の極端な、(九十九)自
 治地域の極端な、(百)自
 治地域の極端な、(百一)自
 治地域の極端な、(百二)自
 治地域の極端な、(百三)自
 治地域の極端な、(百四)自
 治地域の極端な、(百五)自
 治地域の極端な、(百六)自
 治地域の極端な、(百七)自
 治地域の極端な、(百八)自
 治地域の極端な、(百九)自
 治地域の極端な、(百十)自
 治地域の極端な、(百十一)自
 治地域の極端な、(百十二)自
 治地域の極端な、(百十三)自
 治地域の極端な、(百十四)自
 治地域の極端な、(百十五)自
 治地域の極端な、(百十六)自
 治地域の極端な、(百十七)自
 治地域の極端な、(百十八)自
 治地域の極端な、(百十九)自
 治地域の極端な、(百二十)自
 治地域の極端な、(百二十一)自
 治地域の極端な、(百二十二)自
 治地域の極端な、(百二十三)自
 治地域の極端な、(百二十四)自
 治地域の極端な、(百二十五)自
 治地域の極端な、(百二十六)自
 治地域の極端な、(百二十七)自
 治地域の極端な、(百二十八)自
 治地域の極端な、(百二十九)自
 治地域の極端な、(百三十)自
 治地域の極端な、(百三十一)自
 治地域の極端な、(百三十二)自
 治地域の極端な、(百三十三)自
 治地域の極端な、(百三十四)自
 治地域の極端な、(百三十五)自
 治地域の極端な、(百三十六)自
 治地域の極端な、(百三十七)自
 治地域の極端な、(百三十八)自
 治地域の極端な、(百三十九)自
 治地域の極端な、(百四十)自
 治地域の極端な、(百四十一)自
 治地域の極端な、(百四十二)自
 治地域の極端な、(百四十三)自
 治地域の極端な、(百四十四)自
 治地域の極端な、(百四十五)自
 治地域の極端な、(百四十六)自
 治地域の極端な、(百四十七)自
 治地域の極端な、(百四十八)自
 治地域の極端な、(百四十九)自
 治地域の極端な、(百五十)自
 治地域の極端な、(百五十一)自
 治地域の極端な、(百五十二)自
 治地域の極端な、(百五十三)自
 治地域の極端な、(百五十四)自
 治地域の極端な、(百五十五)自
 治地域の極端な、(百五十六)自
 治地域の極端な、(百五十七)自
 治地域の極端な、(百五十八)自
 治地域の極端な、(百五十九)自
 治地域の極端な、(百六十)自
 治地域の極端な、(百六十一)自
 治地域の極端な、(百六十二)自
 治地域の極端な、(百六十三)自
 治地域の極端な、(百六十四)自
 治地域の極端な、(百六十五)自
 治地域の極端な、(百六十六)自
 治地域の極端な、(百六十七)自
 治地域の極端な、(百六十八)自
 治地域の極端な、(百六十九)自
 治地域の極端な、(百七十)自
 治地域の極端な、(百七十一)自
 治地域の極端な、(百七十二)自
 治地域の極端な、(百七十三)自
 治地域の極端な、(百七十四)自
 治地域の極端な、(百七十五)自
 治地域の極端な、(百七十六)自
 治地域の極端な、(百七十七)自
 治地域の極端な、(百七十八)自
 治地域の極端な、(百七十九)自
 治地域の極端な、(百八十)自
 治地域の極端な、(百八十一)自
 治地域の極端な、(百八十二)自
 治地域の極端な、(百八十三)自
 治地域の極端な、(百八十四)自
 治地域の極端な、(百八十五)自
 治地域の極端な、(百八十六)自
 治地域の極端な、(百八十七)自
 治地域の極端な、(百八十八)自
 治地域の極端な、(百八十九)自
 治地域の極端な、(百九十)自
 治地域の極端な、(百九十一)自
 治地域の極端な、(百九十二)自
 治地域の極端な、(百九十三)自
 治地域の極端な、(百九十四)自
 治地域の極端な、(百九十五)自
 治地域の極端な、(百九十六)自
 治地域の極端な、(百九十七)自
 治地域の極端な、(百九十八)自
 治地域の極端な、(百九十九)自
 治地域の極端な、(百十)自

★表紙
 ひとりひまのひととき、日
 本のお姉さん、と慕ひよるマ
 レイの子供達に聞かれて、今
 日日本のお話をせがまされ
 るます。野草と微風と、白く
 まても明るく平和な風景の
 なかで、私達の毎日／＼がた
 だ／＼と流れてゆきます
 一、ホール兵站病院にて
 撮影 神楽坂道雄

写真週報(禁轉載)
 昭和十七年七月廿一日印刷發行
 編輯者 情報局
 印刷者 内閣印刷局
 發行所 東京市豊町區本町
 一部十錢(送料一錢)
 (一)外埠送は依る地域
 (二)は送料長(部十九錢)
 ▲預約配達希望の方は一
 部十錢(送料一錢)の割
 合を以て前金を添へ御申
 込み下さい
 ▲特大號の場合は其の割度
 御達達金より差額を申受
 けます

全国各地官報販賣所
 書店・驛賣店
 新聞販賣店
 寫真材料店



貯蓄戰でも億

米英打倒

長期貯蓄に

生命保險
徵兵保險

國民貯蓄獎勵局

生命保險統制會

内閣印刷局印刷發行

昭和四年三月十四日